

5月 幼稚園だより

平成29年4月28日  
荒川区立尾久幼稚園  
園長 小島 武志

# 風の子

ホームページ <http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/ogu/>

## 懐かしい、でも、ちょっと寂しい



副園長 立石 晃子

教育目標

- 元気で明るい子
- よく考え、すすんで行動する子
- 思いやりのある子

新緑の季節、さわやかな空の下で子供たちは元気に遊んでいます。入園、進級して1か月が経ち、子供たちもそれぞれに安心する場所、友達、先生が見つけれられてきたようです。

進級間もないころのことです。年中うさぎ組の子供たちが年少たんぽぽ組をのぞきに来ていました。たんぽぽ組が降園した後もそうっとたんぽぽ組をのぞき、「あ、変わってる。」と誕生表を見ていた子供たち。そしてそうっと遊び始めました。粘土遊びをしながら、「懐かしい。」とつぶやいた子がいました。「懐かしい？ちょっと寂しい？」と訊くと「うーん・・・どっちもかな。」と答えてくれました。進級し大きくなったことを嬉しく思う反面、今まで慣れ親しんだ場所で小さなお友達が遊んでいることへの違和感があり、複雑な気持ちが入り混じって、今、子供たちは生活しているのだな、と感じられる一場面でした。

そして、私が以前勤務していたときの園長先生がおっしゃった、「（進級したときに）学級の場所が変わることは大切。子供自身が自分の成長を感じるからね。」という話を思い出しました。そのときは何となく受け止めていましたが、その後、年度始めに子供たちが大きくなったことを喜び、ちょっと我慢してみたり、大きくなった振る舞いをしてみたり、お友達に優しくしてみたりといった様子を見るにつけ、進級して保育室が変わることの意義や意味が感じられるようになりました。

保育室が変わる他にも、季節や園行事、活動が子供たちの生活に変化を与えていきます。園で体験する季節や園行事、活動が子供たちの心の成長にしっかり繋がられるよう、教育活動を進めていきたいと思えます。

本園は今年度から2年間、荒川区教育委員会教育研究指定園として、教員の資質向上と教育課題の解決を図り、園における教育の質的向上に資する目的で研究を行います。「話を楽しみ、豊かなイメージをもてる幼児の育成 幼小の滑らかな接続を目指して（仮）」を研究テーマに、幼児が話を楽しめる環境づくり、豊かなイメージをもてる活動の精選と教師の援助の工夫、幼児教育の「学びの芽生え」から小学校教育の「自覚的な学び」への円滑な移行等に取り組む予定です。研究保育、公開保育等で降園時間等の変更があり、保護者の皆様にご協力いただくことがあります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 5月のねらい

### 《3歳たんぽぽ組》

- ・教師に声を掛けてもらいながら身の回りのことを自分でやってみようとする。
- ・教師や友達と一緒に生活することの楽しさを知る。

### 《4歳うさぎ組》

- ・教師や友達と関わる中で自分の思いを表しながら遊んだり生活したりする。
- ・戸外でのびのびと遊び、自然に触れたり戸外で過ごす心地良さを感じたりする。

### 《5歳そら組》

- ・友達と関わり、思いや考えを伝えようとしながら、生活や遊びを楽しむ
- ・戸外で思いきり体を動かして遊び、心地よさや開放感を味わう。

## 初夏の陽射しの中で遊ぶ 風の子たち！

### <年少・たんぼ組>

入園して1ヶ月が経ち、子供たちも少しずつ幼稚園にも慣れてきて保育室や園庭で好きな遊びを見つけて楽しそうに遊ぶ姿が見られるようになりました。保育室では、電車や積み木、粘土、ままごとを楽しんでいます。粘土では、型ぬきや手のひらをコロコロと上下に動かして団子やパンを作って「せんせい、つくった！」と見せに来てくれます。園庭での遊びも大好きな子供たち。砂遊びが人気で、シャベルでお山をつくったり、カップに砂を入れてお皿にのせ、「せんせい、きて！」とごちそうを見せてくれます。

5月も一人一人が幼稚園が楽しいと思えるように教師が好きな遊びの中で関わり、気持ちを受け止めて、楽しみを共感していきます。

### <年中・うさぎ組>

ピンク色のバッチを楽しみに登園した始業式。保育室やバッチなどが変わったことで進級したことを感じ、喜んでいる姿がたくさん見られました。泣いたり戸惑ったりする様子もなく、新しい環境にすぐに慣れ、教師や友達と一緒に過ごすことを楽しんでいます。うさぎ組になって新しく行うようになった名札の付け外しでは、難しさを感じながらも、教師と一緒に一生懸命に取り組んでいます。少しでも自分でできると「ここまで自分でできたよ！」と嬉しそうに伝えにきてくれています。

園庭で泳いでいるこいのぼりを見て、「私たちもつくりたい！」と自分たちのこいのぼりを作りました。枠の中を好きな色のクレパスで丁寧に塗り、すてきな模様のこいのぼりがたくさん出来上がりました。

5月も、自分の思いを出しながら友達と一緒に遊ぶことを楽しめるように、教師も関わりながら、友達への伝え方を知らせたり楽しさに共感したりしていきます。

### <年長・そら組>

始業式、ドキドキワクワクした表情でそら組の教室に登園した子供たちは、そら組のバッチをつけると、年長組になった喜びいっぱいの表情が見られました。お兄さん、お姉さんになった嬉しさから、たんぼ組のお手伝いに行って、「どうしたの？」「分かる？」と優しく声を掛けてあげる姿もいっぱい見られました。

あらかわ遊園での遠足では、豆汽車に乗ったり、ウサギやモルモットに触れ合ったりしました。都電では、公共のルールも守って乗ることができました。

園庭にこいのぼりが泳ぎ、大喜びの子供たち。「そら組に白いこいのぼりをみつけたのだけど...」と見せると、色を塗ってあげようとアイデアがでました。グループで、こいのぼりの色、うろこの形を相談して、ローラを使って絵具で色を塗り、素敵な2匹のこいのぼりが出来上がりました。

5月も、友達と関わりながら遊びや生活を進める楽しさを感じられるようにしていきます。

## 《お 願 い》

幼稚園の前の道は車の通りが激しいので、登降園時の安全には充分気をつけてください。お子様が飛び出す様子が見られますので、必ず保護者と一緒に園門を出るようにし、門の開閉・ボタン押しは必ず大人が行ってください。

自転車で登降園される場合、お子様はヘルメットを着用してください。

園庭に駐輪するときは、園児が安全に遊べるようにご配慮ください。

雨天時の傘差し運転は道路交通法違反になります。保護者の方もレインコートを使用してください。

髪の長いお子様は、結わくなどして遊びや活動の支障にならないようにしましょう。視力にも影響しますので前髪の長さにも気をつけましょう。